



冬休みの推せん図書（5・6年）



平成30年12月 杉教研学校図書館部

冬休みに、家でじっくり本に触れてみませんか。いつもと違った本を手にとって、新しい世界に飛び出してみましょ。

「キキとジジ 魔女の宅急便

特別編その2」

角野 栄子

ポプラ社

ジブリ映画でも有名な「魔女の宅急便」。魔女のキキと黒ねこのジジはどうやって出会ったか、キキが生まれた日のことや小さいころのことが書かれています。キキが魔女になることを決める10歳よりも前の様子が分かります。

「タイガーボーイ」

ミタリ・パーキンス

鈴木出版

ニールは5年生。奨学金を勝ち取り、都会の学校で学ぶことを勧められますが、気が進みません。そんなとき保護区からトラの子が逃げ出したという知らせが入ります。放っておけば、悪い奴らがトラの子を見つけてしまうかもしれない。ニールもトラの子探しを始めますが・・・。

「絵物語 古事記」

富安 陽子

偕成社

「古事記」は、1300年以上も前に作られた日本で一番古い歴史の本です。いなばの白うさぎやオロチなどの話は、古事記の一部でした。神さまたちの奇想天外な物語が、今も語りつがれているのは、なぜでしょうか。国際的なアニメーション作家でもある山村浩二さんの絵と物語の世界をぜひ味わってください。

「チビ虫マービン天才画家！」

エリス・ブローチ

偕成社

マービンは小さな虫の男の子。ニューヨークのアパートのキッチンに、家族と大勢の親せきとともにくらしています。アパートの住人はポンパデー一家。長男のジェームズとマービンの言葉は通じませんが…。人間と虫の秘密の友情の話です。

「介護というお仕事」

小山 朝子

講談社

介護と聞いてあなたは何をイメージしますか。食事や歩行の世話をすること？介護は誰かの生活を支える行為であるとともに、その人の思いを想像し、尊重することでもあります。小中学生でもできることがあります。認知症サポーターも増加中。

「ようこそ、難民！」

今泉 みね子

合同出版

公園で出会った「言葉をなくした少年」は、シリアからにげてきた難民だった。彼らに嫌な言葉をかける大人たち。宗教や習慣のちがう100万人とも、120万人ともいわれる大量の難民が押し寄せたドイツでおきていることに、目を向けてみませんか。

その他のおすすめの本

本の名前	著者名	出版社
なりたて中学生	ひこ・田中	講談社
グッバイマイフレンド	福田 隆浩	講談社
宇宙について知っておくべき100のこと	竹内 薫訳・監修	小学館
戦争と安全のねだん	菅原 由美子	大月書店
ぼくらは鉄道に乗って	三輪 裕子	小峰書店
落語少年 サダキチ	田中 啓文	福音館書店
さくら研究ノート	近田 文弘	偕成社
くらやみのなかのゆめ	クリス・ハドフォード	小学館
コロコロドミノ装置	野出 正和	いかだ社
ひいな	いとう みく	小学館